

今月のテーマ

無料低額診療に救われた 新聞に掲載されました

県内に住む藤本さん夫妻。一昨年、夫・良弘さんは体調が悪化し、仕事を辞めざるを得なくなりました。妻・奈保子さんの派遣賃金と貯金を切り崩しての生活には限界があり、家賃滞納で、住処を失い、野宿を経てネットカフェに寝泊り。奈保子さんの派遣で働きますが収入はネットカフェ代と食費に消えてしまいます。良弘さんは咳嗽、発熱、ときに吐血を認めましたが受診もできない状態でした。「死んでもいいや」と脳裏に浮かびました。そんな時、愛知に住む奈保子さんの姉から連絡があり、その勧めで、「藁をもすがる思いで」当院に電話し、松尾CC事務局長が相談に応じました。「すぐ来てください！」まずは治療をと、無低で一時入院の後、結核専門病院へ。奈保子さんは、行政とも連携し一時保護へ。そこでようやく二人の生保が開始され、その後退院後の住まい探しを行いました。「寝るところができ、これでゆっくり休める。ホッとした」と良弘さんは振り返ります。現在、良弘さんは病気療養を続け、奈保子さんは派遣の仕事の傍ら不足分を生活保護で補いながら、肩寄せ合って市内で暮らしています。「生活に困っているため、病気なのに病院に行くのをがまんしている人に（無低制度を）ぜひ知ってほしい」とは、奈保子さんの言葉。協会の無料低額診療事業が、夫妻の生活を助ける、大きな役割を果たしました。



藤本さん夫婦（両端）と横浜市の汐田（うしおだ）総合病院で相談に乗った総合ケアセンター室長の松尾ゆかりさん

総合ケアセンター事務局長松尾ゆかりさん
しんぶん赤旗日曜版20160822号



おすすめ書籍

いのちをつなぐ無料低額診療事業

著者 吉永純

出版クリエイツかもがわ

貧困の拡大や医療保障制度の後退で、今こそ定番の「無料低額診療事業」...必要性和課題、発展方向を提案する。事業を取り組むために役立つ制度の詳細や事務取扱も紹介。



セミナーなどのお知らせ

11月1日 13:00- 認知症サポーターフォローアップ講座

「海外の認知症施策に学ぶ、アメリカの認知症ケア」

講師：A・ヘイムス氏 社福うしおだビル2階

11月10日 済生会横浜市東部病院脳連携の会

済生会横浜市東部病院

11月11日 川崎幸病院連携の会

幸病院

11月15日 10:00- 輝け高齢期かながわのつどい

講演：宮澤由美医師 藤沢市民会館

11月18日 AOI国際病院連携の会

11月30日 19:00- 鶴見川崎ケアサークルマナビー

医療、福祉の現場で活用されている「音楽療法」の定義、効果

講師：大迫拓広先生 ココファン横浜鶴見



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます♡

・ 汐田総合病院 会場：ラウンジびゅあ（病院2階）

11月11日（木）12月8日（木）14:00-16:00

・ うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

11月11日（木）12月8日（木）14:00-16:00

スタッフのひとこと



10月の管理会議で、退院調整について、活発な議論が行われました。在院日数の縛りや短縮の流れの中ではこれまでの延長線上の取り組みでは、立ちゆかないという情勢と一層の活動の強化を確認しました。

今後法人内はもとより、協同病院、戸塚病院、地域事業所との連携強化に全職員とで取り組む構えです。M.O



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory
Community Care System that support all.